

今冬の大雪対策に関する緊急要望

今冬は、昨年12月から、強い冬型の気圧配置や低気圧の影響により、西日本、北日本や東日本の日本海側を中心に断続的な大雪が続いており、北陸地方の一部地域においては平年の6倍を超える積雪を記録しているところもある。

豪雪地帯町村においては、こうした状況に対処するため、地域住民の協力のもと生活道路確保のため日夜道路除雪に当たるとともに、安全確保のため公共施設や高齢者世帯の雪下ろしなどに懸命に取り組んでいるところである。

しかしながら、昨今の豪雪は、その被害が広範囲であることに加え、局地・集中的でもあるために、倒木による幹線道路の通行止めや電線被害による停電などライフラインの寸断は、地元地域内のみでの対応では間に合わない、対応しきれない状況にある。

したがって、さらなる豪雪による被害を未然に防ぐため、引き続き強力な連携支援及びバックアップ体制などを強化するとともに、速やかな除雪作業等が実施できるよう、除排雪経費及び豪雪被害に係る経費に関し、国の支援措置及び特別交付税の重点配分や早期に交付等の措置を講じ、豪雪地帯町村住民の安全安心な日常生活を確保するよう強く要請する。

平成30年2月9日

全国豪雪地帯町村議会議長会